

平成 27 年 度

# 旭丘中 学校便り

第 8 号

練馬区立旭丘中学校：発行 1 2 月

日本の良いところ

校 長 山谷 安雄

以前、モンゴル出身の旭天鵬関（引退して大島親方）と話す機会がありました。その時の話です。モンゴルでは、日本政府からの海外援助で、道路を作る事業を 10 年以上前から行っていたそうです。同じように道路を作る事業を様々な国も援助していますが、日本と日本以外の国とでは完成した道路に大きな違いがあるそうです。日本以外の業者が作った道路と日本の道路は、見た目は全く同じだそうです。しかし、数年が経つと日本以外の業者が作った道路は、一部が盛り上がってくるそうです。そして、大型車が通ると道路の舗装が粉々に砕けて、修繕が必要になるそうです。日本の業者が作った道路は、規定の厚さに舗装されていて壊れることはないそうです。また、アジアで、食品や家電製品の日本製を好んで買っている国があるそうです。自国の製品でなく日本製を選ぶのは、製品について嘘をつくかつかないかという単純なものではなく、国民性にあるようです。日本人の多くは、自分の仕事にプライドをもっています。規定の製品が作れないのに売ってしまったときに、どのような結果になるか、言い訳など通用しないことをよく分かっています。だから、日本人は、正直にならざるをえないと言うことです。また、基本的に日本人は勤勉です。職人気質と呼ばれる損得を考えないと言うより、よりよい物を追求することを美德と見る国民性でもあり、これが日本製が信頼されている理由になるのだと思います。

さて、「はやぶさ 2」が 1 年ぶりに地球の近くに帰り、地球の重力を利用して加速するスイングバイを 1 2 月 3 日に行い、目的の小惑星「りゅうぐう」に向かいます。1 号機の「はやぶさ」は、数年前に満身創痍で地球に戻ってきました。日本の惑星探査機はアメリカが作る費用の何分の 1 かで作ります。そのため、日本製では一つしか作らない部品が割高になってしまうので製作費用を下げるために、一部をアメリカ製の一般に販売していた部品を使ったそうです。そして、「はやぶさ」は、故障の連続で予定の期間を大幅に遅れて、奇跡的に戻ることができました。ところで、製品には耐用年数というのがあり、アメリカ製は耐用年数を過ぎるとその通りに壊れていきます。契約通りです。しかし、日本製は、耐用年数を過ぎても、同じように使い続けることができたそうです。それが、日本製です。しかし、必要以上（？）に頑丈に作るので、費用がアメリカ製より割高になってしまいます。「はやぶさ」が戻ってこられたのは、日本人の職人気質があったからだと思えます。

しかし、最近のニュースで、ビルを建てるときに地面に杭を打ったときの検査データを偽造したという事件等がありました。日本人らしからぬ事件だと思いました。ここで、日本の良いところは、このようなことがないように、国全体で改善していき不正が起きない体制が作られていくことだと思います。

## 【生徒の活躍】

### ○部活動

- ・バドミントン部 練馬区1年生大会 男子ダブルス 優勝 矢島・伊藤組  
女子ダブルス 準優勝 村田・荻原組 3位 宮崎・清水組

### ○区の大会等

- ・11月13日（金）八校文化発表会にD組が参加しました。
- ・11月28日（土）区中P主催駅伝大会が行われました。本校から男子2チームがサッカー部員中心に参加しました。



## 【行事等の様子】

- ・11月14日（土）本校で道徳授業地区公開講座を開きました。
- ・11月19日（木）D組が校外学習で科学技術館へ行きました。

## 【これからの行事】

- ・12月7日（月）から3年生が、8日（火）から1, 2年生がそれぞれ三者面談を実施します。
- ・12月17日（木）練馬区特別支援学級の研究発表を本校と旭丘小学校で行います。
- ・12月25日（金）終業日

## 【地域の行事】

- ・12月6日（日）旭丘中学校が新しく災害時の練馬区の医療救護所に指定されたための訓練を実施しました。大きな災害が起こったときに、避難拠点と医療救護所の機能をもつことになりました。

### ○練馬区の災害時医療救護所の流れ

- ①震度5弱以上で医療救護所を設置
- ②負傷のために本校に来た方のトリアージを行い、重症と中等症の方は病院へ搬送
- ③軽傷の方は、本校で応急処置



トリアージ：傷病者を4つのグループに判定し、治療の優先順位や治療場所を決めていく作業。



(重症者の診察の様子)

(軽傷者の診察の様子)